令和４年度小樽幼稚園評価

令和５年３月

【経営目標】　「信頼される幼稚園づくり」

（１）心豊かでたくましい子どもの育成

・「まことの保育」を推進する。　・子どもの主体的な活動を展開できる保育を推進する。　・基本的生活習慣や生活リズムの定着を図る。

・つながりのある活動を展開する。

（２）安全・安心を基盤とした園生活の充実

・教育環境の整備。　・防災、防犯体制の充実。　・健康・安全面に配慮した指導の充実。

（３）保護者や地域社会との連携の強化

・地域の環境や人材を活かした教育の推進。　・情報発信、情報交換の積極的な推進。

（４）意欲的に学び、相互啓発する教職員の育成

・教師の指導力の向上。　・協働体制の充実。　・時間外勤務の縮減

◆評価方法　１学期自己評価（7月２０日実施）、2学期自己評価（１２月２０日実施）、保護者評価（１２月２日～１２月９日で実施）を基に評価

（各評価でＡが４点、Ｂが３点、Ｃが２点、Ｄが１点とし平均を出している。）

◆評価基準

【Ａ　十分達成 3.25 以上　Ｂ　おおむね達成 3.25 未満～2.5 以上　Ｃ　取り組まれているが不十分 2.5 未満～1.75 以上　Ｄ　改善を要する 1.75 未満】

中期経営目標	短期経営目標	努力指標	評価指標	評価結果	成果と課題
（１） 心豊かでたくましい子どもの育成	・「まことの保育」の推進。	・気持ちを整えてお参りできるようにする。 ・「思いやりの気持」をもてるようにする。 ・「ありがとう」「ごめんなさい」を言えるようにする。 ・「仲良く」遊べるようにする	・自己評価・保護者評価関連項目肯定的な意見９５％以上	B	保護者評価では高い評価だが、自己評価では概ね達成と言う評価になった。 「まことの保育」について、保育者の理解を深め子どもたちに適切に指導していけるようする必要がある。
	・教師主導の一方的な保育から子どもが主体な活動への転換	・子どもなりに試行錯誤できる活動を計画する。 ・子どもの思いを察し、その願いに応答する。 ・子どもが自ら考えやってみようという環境をつくる。	・自己評価・保護者評価関連項目肯定的な意見９５％以上	A	保護者評価では、子どもの興味・関心が高まり知的好奇心が向上していると高い評価になっている。自己評価では概ね達成になっているが、子どもが「おもしろい、やってみたい」と思うような環境づくりを積極的に推進していく必要がある。
	・つながりのある活動を展開する。	・年間を見通して、ストーリー性のある活動を展開する ・１年間のテーマを決め、創造性、発展性のある活動をする。	・自己評価関連項目肯定的な意見９５％以上	B	全ての学年でテーマを定め、ストーリー性のある活動ができてきた。お遊戯会の演目も日常の活動の発展となってきた。より教育活動のつながりを意識し創造性のある活動ができるようにしていきたい。
	・基本的生活習慣や生活リズムの定着を図る。	・基本的な生活習慣が身につくよう、保護者と連携し、個々に合わせた指導をする。 ・園生活のリズムを全職員が意識して関わる。	・自己評価・保護者評価関連項目肯定的な意見９５％以上	A	保護者評価では高い評価である。自己評価も概ね達成されているが、基本的な生活習慣の定着に個人差が見られる。 子どもたちが周囲の人のことを考え、自ら行動できるようにしていきたい。
（２） 安全・安心を基盤とした園生活	・教育環境の整備。	・子どもが扱いやすく安全な環境の工夫。 ・保育室の清潔で安全な環境の維持。	・自己評価、保護者評価関連項目肯定的な意見９５％以上	B	安全な環境は概ね達成されているが、教材等乱雑に置かれている面が見られた。整理整頓が必要である。

	・防災、防犯体制の充実。	・避難訓練や安全指導を確実に実施する。 ・玄関オートロックの徹底 ・危機管理マニュアルに基づく対応ができる。	・自己評価、保護者評価関連項目肯定的な意見９５％以上	B	職員は高い意識で取り組み、保護者も高評価であるが、一部の保護者に玄関の施錠など不安に思っている意見があった。 事件や事故が発生した際は、危機管理マニュアルに基づく対応を確実にしていきたい。
	・健康・安全面に配慮した指導の充実。	・日常点検表に基づく安全点検の実施を毎日行う。 ・うがい、手洗い、換気の励行 ・健康観察表の徹底	・自己評価、保護者評価関連項目肯定的な意見９５％以上	A	新型コロナに対応し、保護者の協力を得ながら感染防止の徹底に努めた。 今後も園児の健康・安全面に十分配慮していく。
（３） 保護者や地域社会との連携	・地域の環境や人材を活かした教育の推進。	・関係機関や施設と連携し、教育活動の充実を図る。	・自己評価、保護者評価関連項目肯定的な意見９５％以上	A	ふるさとに関わる体験活動を充実することが出来た。また、特別支援施設職員との意見交換や療育見学などの連携を深めることが出来た。
	・情報発信、情報交換、情報活用の積極的推進。	・園だより、HP、ミニレターなどにより、園や子どもたちの様子を積極的に発信する。	・自己評価、保護者評価関連項目肯定的な意見９５％以上	A	子どもたちの活動の様子を毎日のようにHPで発信し続けている。ミニレターでも各クラスの様子を知らせ、保護者から高い評価になっている。
（４） 意欲的に学び相互啓発する教職員の育成	・教師の指導力の向上。	・子どもとの信頼関係の構築 ・専門知識や技能の習得 ・創意工夫ある教育活動	・自己評価・保護者評価関連項目肯定的な意見９５％以上	A	保護者評価では子どもとの信頼関係が高い評価になっている。コロナ禍のためオンライン研修だけであったが、専門知識の習得に努めた。 今後、初任者研修を充実させていきたい。
	・協働体制の充実。	・報・連・相の工夫 ・教師間の共通理解と協力体制の構築 ・教師一人一人のよさを互いに尊重し協力できる関係 ・生き生きと日々の教育活動に取り組める雰囲気の醸成	・自己評価関連項目肯定的意見９５％以上	B	自己評価では概ね達成できているという評価である。職員から「自己目標・自己評価シート」を提出してもらい、２学期終了後に園長と個別面談を行い、全職員の意見を聞き取った。 今後も職員間のコミュニケーションを充実し、共通理解と協力体制の充実に努めていきたい。
	・時間外勤務の縮減	・１８時退勤を目指す。 ・教育活動を見直し、保育者の負担軽減を図る。	・自己評価関連項目肯定的意見９５％以上	B	１８時退勤はほぼ達成できたが、自宅に持ち帰る仕事が増えている。改善のためには教育活動の見直しや人員の増加が必要である。

総　合　評　価

◆成果
①各学年つながりのある活動や創意工夫を生かした活動に意識的に取り組むようになってきた。お遊戯会にも日常のつながりを生かした発表ができた。
　この取り組みは、教育目標の達成や行事等の準備の軽減にもつながるものである。
②職員全体で子どもの自立を促すことを共通理解し実践したことで、子どもたちに「自分でできることは自分でやる」と意識の高まりがみられた。
③新型コロナウイルス感染防止対策や園児の健康観察を徹底し、通常に近い活動を行うことが出来た。
④全国的に話題になった、園バス園児置き去り事件、保育士の虐待事件などの報道を踏まえ、直ちに危機管理マニュアルの見直しや緊急時に園児がクラクションを鳴らす訓練、虐待に関する職員研修を行い、安全管理の充実に努めた。
◆課題と改善策
①「まことの保育」の浸透。
　・「まことの保育」の意味を、園長講話、担任の指導などを通し、子どもたちに分かりやすく伝え、「やさしい心」を育んでいく。
②危機管理マニュアルに基づく対応を確実にできるようにする。
　・事故が起こった際、慌てず対応できるよう職員会議でシュミレーションを取り入れる。
③保育者の負担軽減を図る。
　・行事や日常の活動を見直し、保育者の負担軽減を図る。仕事を分担し仕事の偏りが無いようにする。
④初任者研修の充実
　・初任者研修計画を作成し、組織的・計画的に初任者を育てていく。

幼　稚　園　関　係　者　評　価　委　員　会　か　ら　の　意　見　等

評価項目が大まかになっている部分があるので、職員が具体的にどのような改善が必要なのか考えていけるような評価項目の見直しが必要と思う。

設　置　者　に　よ　る　支　援　・　改　善

仏教行事における園児向け法話や、職員向け「まことの保育」研修の協力をするとともに、園舎改築等環境整備が計画通り進むよう努めていく。